



みらいん

わかばやし

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



今月の
ひと

故郷の再生を願って
毎日、荒浜へ通う若人

自分や仲間、皆のために
スケートボードのコースづくり

今日も海風が強く吹きつける荒浜。この荒浜へ毎日やってくる若者が一人、貴田慎二さんです。貴田さんは、自宅跡地にスケートボードのコースをつくっています。

「津波で全て失ってから『何か楽しいこと、自分の好きなことをやらなきゃだめだ』と思って。好きだったボードを皆にも楽しんでもらいたいから、コースをつくり始めたんです」と話す貴田さんは、友人の助けを借りながら、初心者から楽しめるようなスケートボードコースをつくり続けています。

「深沼で生まれ育ったから、この土地への愛着は人一倍あります。だって、もったいないっすよ。こんなに街から近くて海水浴場もある場所なんて、他にないですよ」。夏休みになると、毎日、家族連れや若者でにぎわったこの町を、もう一度再生させたい、そんな気持ちでいっぱい貴田さん。

「荒浜は公園になる計画があるようだから、それならば、子どもから大人まで、多くの市民が楽しめる場所になってほしいです」と語る

貴田さんの日焼けした顔の先には、母校の荒浜小学校が今も町を見守るようにたっています。

2013
9月

防災マップ



海岸堤防

2015年度完了を目標に進めている、仙台湾地区の海岸堤防復旧工事は、国土交通省が施行する若林区内の工区で現在5割の部分が完了しています(仙台市が実施する深沼海水浴場部分を含みます)。これまでの若林区内の代表的堤防の高さは5.2m~6.2mでしたが、新しい堤防は7.2mに統一されます。これは高潮や百数十年単位で発生する頻度の高い津波を対象に設計されています。震災後の調査で、堤防は堤防を越えた海水により、海側からではなく陸側から破壊されていることがわかったため、陸側に瓦のように噛み合わせるブロックを用いたり、法面の付け根部分を補強するなどの工夫が施されました。これにより、東日本大震災のような最大クラスの津波に対しても、破壊、倒壊するまでの時間を少しでも長くするような構造になっています。



深沼海岸から望む海岸堤防

河口堤防

5~6mの高さだった名取川の河口堤防は、河口から関上大橋まで海岸堤防と同じ7.2mの高さになり、海岸に近い区間は海岸堤防同様に津波に対して強い構造になります。また、藤塚側、関上側、と

も同じ高さ、構造です。現在、藤塚側の復旧工事は全区間で着手しており、2015年度完了を目標に進められています。洪水などに配慮し、元の堤防の形を確保しながら工事が進められています。なお、排水機場などの復旧工事が完成するまでの間は、大雨、洪水に関する情報には常に注意してください。

取材協力

- かさ上げ道路 ● 仙台市建設局
- 避難施設 ● 仙台市消防局
- 排水機場 ● 農林水産省東北農政局仙台東土地改良建設事業所
- 海岸防災林 ● 林野庁東北森林管理局仙台森林管理署
- 河口堤防・海岸堤防 ● 国土交通省東北地方整備局仙台海川国道事務所

六郷

七郷

わがまち防災レポート

あの日から2年半。沿岸部では日々さまざまな施設、設備の復旧が進められています。今月の特集は、浸水区域にお住まいの方や現地再建を控えている方々に知っていただきたい、災害対策設備や施設の復旧、新設に関するレポートをお届けします。

避難施設

若林区内では5カ所の津波避難施設の建設が予定されており、現在仙台市による地区住民の方への説明会が順次行われています。施設には鉄筋コンクリート造りのビル型と、鉄骨造りのタワー型の2タイプがあり、ビル型は笹屋敷、三本塚、種次の消防団施設と併設する形で、タワー型は井土と三本塚に建設されます。それぞれに水、食料、毛布、簡易トイレなどが備蓄、防災行政無線が設置される予定です。各施設は、住民説明会での意見などを参考に設計などを行った上で着工され、概ね1年ほどで完成する予定です。

かさ上げ道路

関上大橋から七北田川までをつなぐかさ上げ道路は、若林区内では県道塩釜亘理線と並行して建設されます。高さ6m、幅30m~40mのこの道路は、海岸堤防、海岸防災林とあわせ、津波からの減災を図る役割が期待されています。若林区内では津波避難道路となる県道井土長町線、県道荒浜原町線を含め東西を横断する道路8本との平面交差点で接続される予定で、現在、順次住民説明会を行っており、まとまった用地が取得できた地区から順次着工されます。完成は着工から5年程度を目標としています。



荒浜地区に設置されたかさ上げ道路の実物大モデル

排水機場

排水機場とは農地や宅地などに流れ込む内水の氾濫を防ぐための施設です。震災では六郷、七郷地区にある大堀、二郷堀、藤塚の3カ所すべてが被害を受けました。応急復旧は2011年度に完了し、本復旧は現在着工中です。本復旧では、地盤沈下対策として大堀のポンプ台数を2台から3台に、二郷堀では4台から5台に増設し、排水の汲み上げ量の増強を図り、震災以前と変わらぬ排水状況を確認します。本復旧は大堀で年度内の完了、二郷堀、藤塚で2014年度内の完了を目指しています。

海岸防災林

震災における仙台市の海岸防災林の被害は、民有林・国有林合わせて約326haに及びました。現在、震災前の状態に戻すよう復旧に当たっていますが、地下水の影響を受けず、より深い根を張る防災林となるよう、あらかじめ2~3mの盛土を行った上で、潮風や乾燥に強いクロマツを中心に内陸側には、コナラやヤマザクラなども併せて植えることとしています。植付けの密度は、早期に森林化を進めるため、ヘクタールあたり5,000本からスタートし、間伐などを経て大木となる頃には数百本とする予定です。今後は、公共事業だけではなく、広くNPOなどの協力を得ながら、被災後10年を目処に植付けまでを終える予定です。

みらい編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

●4日(木) お茶会はノリノリライブ!
(七郷市民センター)



借り上げ民間賃貸住宅住民グループ若松会のお茶会ゲストは、日本全国を飛び回るミュージシャン「ソーセージ」です。ファンキーなお兄さんたちの演奏に皆もノリノリでした。

●7日(日) 初めてのそば打ち
(JR南小泉アパート仮設住宅)



親子参加のそば打ち体験が行われました。力いっぱいこねて粉だらけの子どもたち。そば切り包丁はとっても大きくて、おっかなびっくりながらも、一生懸命取り組みました!

●10日(水) オリジナルウエアづくり!
(荒井7号公園仮設住宅)



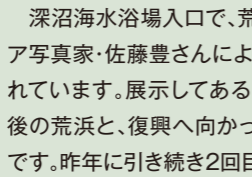
学校法人三島学園から、陶芸の先生がやってきました。この日は素焼きの陶器への絵付け体験です。可愛いシールを使ったり思い思いの絵柄をつくりました。完成品が届くのは一カ月後です。

●11日(木) 私にも出来ました～
(荒井小用地仮設住宅・鶴亀会)



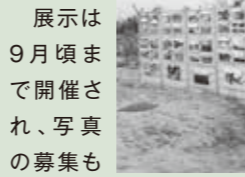
泉区の吉成小学校6年生30名が体験学習で訪れ、復興かめを作りました。「糊をくっつけたらしばらくそのまま握っていてくださいよ」など、鶴亀会のメンバーから指導を受けながら、皆上手にできました。

●17日(水) 荒浜青空写真展
(荒浜)



深沼海水浴場入口で、荒浜出身のアマチュア写真家・佐藤豊さんによる写真展示が行われています。展示してあるのは震災前と震災後の荒浜と、復興へ向かっている人々の写真です。昨年に引き続き2回目となった今年の展示は、佐藤さんが各メディアを通して「震災以前の荒浜の写真の提供」を呼びかけたことで、多くの写真が集まりました。

●24日(水) 野菜もお姉さんもおしゃれ～
(若林三丁目・ぐるぐる若林マルシェ)



展示は9月頃まで開催され、写真の募集も引き続き行っています。震災以前の荒浜の写真をお持ちの方は090-7933-3404(佐藤豊さん)までご連絡ください。

●22日(月) 風呂敷講座開催
(日辺グラウンド仮設住宅)



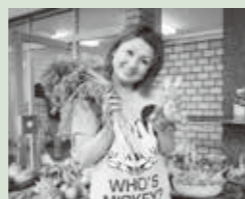
「唐草模様の風呂敷で思い出すのは誰かな?」との講師の問いに、すかさず全員が「東京ほん太!」と答えました。その後は、風呂敷の様々な活用法に感心しきりの皆さんでした。

●23日(火) 「じえじえ」流行っています!
(卸町5丁目公園仮設住宅)



健康体操教室で、「掛け声は「じえじえ」でやしましょう」とインストラクターの先生。集会所全体が「じえじえ」の大コーラスになりました。参加者は「じえじえ、思いのほか体が動いたでば!」

●24日(水) 野菜もお姉さんもおしゃれ～
(若林三丁目・ぐるぐる若林マルシェ)



おしゃれな野菜が入荷していました。「細くて小さな「イエローにんじん」はサラダに、プチトマトの「アイコ」はとっても甘いんですよ～」と、マルシェのスタッフが教えてくれました。

読者から
ひとこと

●ようやく仮設暮らしに慣れてきたのに、また引っ越ししないといけないんだよね。震災前までは知らなかった人ともすぐ仲良くなったんだよ。あと一年、二年で離ればなれになっちゃうんだと思うとさみしいね。

若林区/佐藤さん

●富沢市民センターのサロンで、近くの車両基地に行きました。震災の影響で市外から仙台市にきてからもう二年になるけど、ここに車両基地があるなんて知らなかったです。皆で来ることができてすごく楽しいです。前日はワクワクしすぎて眠れなかったくらいなんですよ。

太白区/Hさん

●中野小学校五年生になった孫の真望をいつも下校後に預かり、一緒に遊んでいます。心優しい子で「おじいちゃんがさびしいだろうから」と、犬のぬいぐるみを部屋に置いて行ってくれたんです。

宮城野区/菊地武三郎さん

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいだった方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

荒浜移転
まちづくり協議会

集団移転の早期実施と移転後の荒浜の地域コミュニティ再生を目的としています。

八月九日(金) 定例会議

内容

●協議会ニュースの内容検討

当日の様子



問い合わせ先
代表 宋永薫 (問い合わせがある場合は直接定例会場においでください)
定例会議
第2・4金曜日19:00～
サンピア2F 会議室4

協議会ニュース発行に向けて、記事内容を検討しました。荒井地区の移転先造成工事が進んでいることから、住宅建築の準備を促す内容が必要なことや、ハウスメーカー選別に役立つ説明会の案内などが話し合われました。また、複数の世帯で建築を希望するメーカーが同じになった場合の、共同で契約することのメリットについて話しました。

荒浜再生を願う会

荒浜に戻って文化の再生を目指す住民有志が中心となって活動しています。

八月五日(月) 定例会議

内容

●イベントについての協議

当日の様子



問い合わせ先
代表 貴田喜一 090-8254-4270
定例会議
毎週月曜日19:00～
荒井小学校用地仮設住宅集会所

八月に企画されているイベントに関して、東北大学が十八日にサンモール一番町で開催する復興支援イベントに会が参加し、仙台市民へ情報発信することや、二十四日に予定している貞山掘の灯笼流しの役割分担について、それぞれ話し合われました。名取川流域の文化交流として、秋保の職人が荒浜の各種素材で作品を制作する九月の企画の報告もありました。

明日の三本塚を
考える会

東六郷地区における農地と宅地の一体的な整備や住民主体のまちづくりを目指しています。

七月二十六日(金) 定例会議

内容

●地区内移転に関する提案

当日の様子



問い合わせ先
代表 小野吉信 090-3122-4843
会議、学習会は自由参加、随時開催

建築の専門家から、移転事業費が減額となるような新しい提案がありました。これは宅地造成費用・住宅建設・ローン返済のそれぞれに関して、費用がより減額となるというものです。この計画案は、三本塚町内会全体集会で提案される予定です。また、参加者が持参した自作の建築模型を前に、未来の自宅への希望や問題点が話し合われました。

東六郷移転推進協議会

東六郷の浸水区域から六郷地区への集団移転に向けて活動しています。

八月四日(日) 会合

内容

●井土地区移転住民グループとの顔合わせ

当日の様子



問い合わせ先
代表 落合義光 090-4882-3368
会議は随時開催

会が移転する隣接地に移転予定の井土地区住民グループとの初会合が行われました。今後共同で移転事業を進めていくことから、今回の議題としてはまず、公園、道路、上下水道などのインフラ整備について、課題整理が行われました。早急に取り組む課題として公園用地の場所の確定が挙げられ、決まり次第、住宅区画を確定していくこととなりました。



仙台傾聴の会の

傾聴活動

東日本大震災から二年半。今、さまざまなかたちで支援が続いている方々がいます。地域に根差して支援を続ける方々は、どんな思いで活動しているのでしょうか。被災地で取材を続ける情報ボランティア@仙台の大学生記者が取材しました。

仙台傾聴の会(森山英子代表)は二〇〇八年から、名取、仙台両市内の介護施設などで、認知症やうつ病を患う方々の悩みや不安にじっと耳を傾ける支援を行ってきました。震災を機に、仮設住宅や市民センターなどで「茶話会」のような場を定期的に設けるようになり、現在もなお、被災された方に寄り添い続けています。会のメンバーは仙台市を中心に県内在住の約二百人。民生委員や看護師、薬剤師など職業も年齢もさまざま、実際に傾聴するにあたって基本的な講習を必ず受講しており、中には臨床心理士などカウンセラーの資格を持つメンバーもいます。

憲一さんは言います。自立への歩みを踏み出し、気丈に振る舞いながら、周囲にはなかなか言えない不安や悩みを抱えた方は少なくありません。知り合いの目を気にせず、ゆっくり話ができる茶話会は、そうした方々の心を軽くする場になっていくようです。若林区内からバスに乗って毎月通っているという八十代の女性は、同じような思いで通い続けている幼なじみの同級生との会話に花を咲かせていました。「ここじゃさ、周りに気つかわなくていいがらっしゃ。好きなこと話せんだがらいいのっ



くつろいだ雰囲気、ボランティアと参加者同士が話を交わし合う「傾聴茶話会」

「しゃ」。「こんな風にこの会を楽しみにしてくださる方もいて、日常の何気ない会話も増えましたね」。事務局長の伊東みどりさんが、おぼろげに目を細めていました。傾聴の基本は、相手を認め、話を受け止め、共感すること。どんな話でも、どんな人でも、メンバーたちは温かく迎えてくれます。「悩みを一人で抱え込んでいる人はまだまだいると思います。会話に限らず、同じ時間を共有することで、ほっとした気持ちになってもらえたらとてもうれしいです」と、長田さん。仮設住



冊子「あなたの心によりそう 傾聴ボランティアの視点」。会員の思いや日常でも使える傾聴のポイントが載っています

傾聴活動 9月開催日程
申込不要、参加無料
傾聴茶話会
10月7日(月)10:30～12:00
仙台市市民活動サポートセンター
傾聴サロン
9月7日(土)、10月5日(土)10:00～15:00
仙台市福祉プラザ
電話相談：080-3199-4481
(火・木・土曜日9:00～17:00)
問い合わせ
仙台傾聴の会 森山英子代表
090-6253-5640
http://blog.canpan.info/morimori/

取材：遠藤柊子、福長悠@東北大学大学院
情報ボランティア@仙台 ブログでも発信中です。
http://flat.kahoku.co.jp/u/volunteer16/ より(地域SNS「ふらっと」ブログ)

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

手しごと秋保彩展 Vol.5 ～海と森を繋ぐ名取川「わ」プロジェクト～

「名取川流域文化交流」をテーマに、秋保のつくり手が津波で被災した荒浜の復興プロジェクトに参画し、その地域の歴史・素材を発見し新しいモノをつくることで、地域の元気を取り戻す手伝いをする提案展です。入場無料。

- 対象 どなたでも入場できます
- 時 9月20日(金)～25日(水)10:00～20:00(25日は～19:00)
- 場所 東北工業大学一番町ロビー(青葉区一番町1-3-1)
- 主催 手しごとAKIU
- 問 022-723-0538 東北工業大学 一番町ロビー

大切な方をなくされたひとのわかちあいの会

仙台グリーンケア研究会では、大切な方をなくされたひとの「わかちあいの会」を開催しています。ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、つらい気持ちなどを静かに語り合います。会の中で話されたことは、他にもれることはありません。申込不要、参加無料。

- 対象 大切な方をなくされたひと
- 時 9月21日(土)14:00～16:30(受付13:30～)
- 場所 仙台市シルバーセンター(青葉区花京院1-3-2)
- ※託児希望の方は事前にお知らせください
- 問 070-5548-2186 仙台グリーンケア研究会事務局

支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料。

サロン・イベント名	対象	時	時間	会場	内容	申込	問い合わせ
泉区役所巡回相談・サロン「ちくちく工房」	泉区のみなし仮設にお住まいの方	9月10日(火)	10:00～12:00	泉区役所5階	「ランチョンマット」を手づくりします。ちくちくしながらおしゃべりしましょう	不要	支えあいセンター いずみ 022-772-5755
いぐねおちゃっこの会	六郷地区にお住まいの方、元六郷地区の方	9月11日(水)	10:00～12:00	六郷市民センター	若林地区・お楽しみかくし芸	要(電話)	支えあいセンター わかばやし 022-781-0559
なつかしの音楽・名曲クラシック	宮城野区のみなし仮設にお住まいの方	9月14日(土)	10:00～12:00	仙台市中央市民センター	皆で懐かしい音楽を鑑賞しましょう	要(電話)	支えあいセンター みやぎの 022-292-0990
ほのほの中央サロン	太白区のみなし仮設にお住まいの方	9月21日(土)	10:00～12:00	太白区中央市民センター	リーフコースターづくり(手芸)	要(電話)	支えあいセンター たいはく 022-217-7234
第17回木町サロン	木町地区にお住まいの方	9月28日(土)	10:00～12:00	木町通市民センター	ディスコン(円盤を使い誰でも安全にできるスポーツ)&交流会	要(返信はがき)	支えあいセンター あおば 022-217-7234

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

健康相談などのお知らせ

電話：022-282-1111(若林区家庭健康課・障害高齢課)

相談名	時	時間	会場	内容	担当	問い合わせ
母と子の健康相談	9月6日(金)★ 10月5日(土)	9:30～10:30	六郷保健センター	育児の心配や母と子の健康についての相談(保健センターでの歯科相談は隔月でおこなっています)	保健師・栄養士 ★の日は歯科衛生士もおります	家庭健康課 内線6772
	9月10日(火)	9:30～10:30	七郷保健センター			
	9月27日(金)★	13:30～14:30	若林区役所3階			
子どものこころの相談室	9月24日(火)	午後・予約制	若林区役所3階	震災後の子どものこころの健康に関する相談(要予約)	臨床心理士	
健康づくり講話	9月18日(水)	13:30～14:30	若林区役所3階 健康教育室	年を取ると骨・関節が弱くなるのはなぜ?～膝・関節の痛み、圧迫骨折～	安倍整形外科 安倍吉則先生	家庭健康課 内線6785
健康づくり相談		14:30～15:30	若林区役所3階	健康相談(要予約)	保健師、栄養士、歯科衛生士	
こころの健康相談	9月9日(月) 9月19日(木) 9月27日(金)★ 10月3日(木) 10月7日(月)	13:30～16:00 ★の日は 9:00～12:00	若林区役所3階	こころの健康に関する相談(要予約)	精神科医師、精神保健福祉相談員、保健師など	障害高齢課 内線6752
	震災こころの相談	随時(土日祝日除く)	8:30～17:00	若林区役所1階窓口など	震災によるストレスやこころの相談	
高齢者総合相談	随時(土日祝日除く)	8:30～17:00	若林区役所1階窓口	高齢者の健康や介護・福祉の相談	保健師など	障害高齢課 内線6742

NHK連続テレビ小説「あまちゃん」のテーマ曲、歌詞はありませんが、何度聞いても「すつとこどっこい」と聞こえる一節があります。不思議な事に、この聞こえ方が日によって変わるのです。いつもは、おもしろおかしく、元気が下がっている時は、つまらなく聞こえます。音楽の一節に対する感じ方でもこんなに違うのかと驚いています。最近、我が家では、毎日の元気をこの一節で確認しています。

ところで元気が下がった時、皆さんは何をなさいますか。私は、からだの元気は、「寝る」「食べる」ことで保つようにして、心の元気回復のためには、マッサージや熱中できるダンスを行っています。また、普段から機会を見つけては風に向かって立ち、風に吹かれるようにしています。私は風に吹かれると、すっきりとしたからだの爽快感と、心の安らぎを同時に得られるのです。「風」に対する感じ方を、自分自身で刷り込んできたのかもしれない。

心の元気、皆さんはどの様にチェックし、どんなケアをしていますか。好きな事、楽しい事、夢中になれるもの、気持ちのいい事、癒やされる事等、ぜひ「心の常備薬」をご用意ください。

入江徳子（いりえ のりこ）
健康運動指導士として震災後、避難所や仮設住宅集会所で指導を行っている健康増進センターのリーダー的存在

クロスワードパズル

出題 石田竹久

こたえ

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

1		2		3	4	5
D				A		
		6	7		8	
			B			
9	10		11			
					13	14
			15	16		
17		18		19		
		20				

タテのカギ

- ①仙台市初の名誉市民にして詩人、英文学者の土井〇〇〇〇。市内には、その名をとった〇〇〇〇通りがあります
- ②人口100万人を超える仙台市は、東北最大の〇〇といえます
- ④酒を注いで飲む小さい器
- ⑤仙台市在住の直木賞作家・伊集院静の妻は、女優の〇〇ひろ子
- ⑦敵の本陣、大きな組織の中樞
- ⑩9月20、21日、志波彦〇〇〇〇と塩竈〇〇〇〇にて、「しおがまさま神々の月灯り」が開かれます
- ⑭仙台市出身の漫画家・荒木飛呂彦の代表作といえば、「ジョジョ」の奇妙な〇〇〇〇
- ⑯2002年にノーベル化学賞を受けた〇〇〇耕一は、東北大学出身
- ⑰9月14～23日、野草園にて「〇〇まつり」が開催されます
- ⑱寅さんの名ゼリフ、「〇〇は車、名は寅次郎。人呼んで…」

ヨコのカギ

- ①野球で、打つために必要な棒
- ③「ひよっこりひょうたん島」などで知られ、日本芸術院会員である井上〇〇〇は、仙台第一高校の出身
- ⑥「暗夜行路」「城の崎にて」などで知られる〇〇直哉は、石巻市出身
- ⑧芸人の〇〇英孝は、宮城県の魅力を全国に発信する「みやぎ絆大使」のひとり
- ⑨芸道で素質がないのは、〇〇が悪い
- ⑩今年のテーマは「音楽は無敵大」。9月7、8日に、定禅寺ストリート〇〇〇フェスティバルが開かれます
- ⑫仕事から退いてのんびりと暮らすこと
- ⑬仕組みや機構の大きさ
- ⑮〇〇は世につれ世は〇〇につれ
- ⑰青葉城恋唄より。♪広瀬川～流れる岸辺～想い出は帰らず 〇〇〇～踊る光に…
- ⑲ことわざ。〇〇〇は人の為ならず
- ⑳マリンピア松島水族館でも人気者。「海豚」の読みは？

前回のこたえ

A ナ B ツ C ヤ D ス E ミ

でした。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
ト	ス			ア	イ																
ウ	ナ	ジ		ツ	ユ																
ロ		ビ	ヤ	シ	コ																
ク	シ		タ	マ	シ	イ															
	ハ	ワ	イ		コ																
	ア	ン	キ		ハ	ナ															
			ミ		ロ	ク															

編集後記

震災復興応援ソング「がんばれ援歌」を唄う高橋樺子さんが、またまた8月にやってきました。待っていたように住民有志が踊りの輪をつくっていましたよ。♪にしの空から～がんばれ援歌～（きくち）
副鼻腔炎を患いました。こめかみから菌までの痛みが今この時も襲ってきます。元はただの風邪だったんですけどね。この時期、熱中症はもちろんです。夏風邪にもご注意ください。（さとう）

お住まいを移転される方へ

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越し後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部
TEL：022-390-5755
FAX：022-390-5756 e-mail：kawara@mmmm.or.jp